

授業科目名	がん看護学臨地実習	担当教員	千葉恵子
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：臨地実習 45時間

**【授業概要】**

実習は、臨地実習施設である亀田総合病院のがん治療棟を拠点として、医療チームの中の看護師の役割を、臨地実習指導者の指導もと経験する。がんを患う対象者と家族に寄り添い、痛みやリンパ浮腫、その他のあらゆる症状を経験するひとの日常生活の援助や、特殊な治療を受けるために必要な患者教育とサポートに必要な専門的知識と技術を学ぶ。

**【授業目的・目標】**

1. 多職種からなるがん治療チームの中で、がんに関する一次、二次、三次予防に向けた対策と看護師の役割が説明できる。
2. がんを患う患者様とその家族の経験を理解し、質の高い効果的な看護が実践できる。
3. がんのために起こる多様な症状を持つ患者様の看護の方法や技術を実践できる。
4. がんの予防と治療に関する個人、家族、集団のための健康教育に参加する。

**【履修条件】**

「がん看護学」を修得していること

**【授業計画】**

実習 1 日目～4 日目:各施設をローテーションしながら看護を実践する

実習 5 日目:学習内容のまとめ 課題レポートの作成 評価面接

**【教科書】**

指定なし

**【参考書】**

がん看護学で使用したテキストを参考書とする。

大西和子・飯野京子編集 (2011) がん看護学, NOUVELLE HIROKAWA

**【評価方法・評価基準】**

実習目標への到達度による評価(65%) 課題レポート(35%)

**【講義のために必要な事前・事後学習】**

事前学習:実習施設の概要について、事前に調べておく。

事後学習:日々の学習内容について、振り返り記述をし、興味のある内容について課題レポートを作成する。

**【教育目標（必須要素）との関連】**

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

**【試験や課題レポート等に関するフィードバック】**

実習終了日の評価面接およびレポート返却時にコメントする。

**【備考】**